

## デッチ上げから目をそらせるために… 会社の労対部・犬たる ユニオン幹部の犯罪！

「ユニオン組織情報533号」(海労家宅搜索その3)で、**ユニオン幹部自らが会社、警察権力の使いつ走り**であることを暴露している。

この組織情報は、「海労家宅搜索」にわざわざ番号を付けて、あたかもシリーズ物のようにになっているが、これは**あらかじめ、会社や権力と通じて、デッチ上げのシナリオを知っていた**ことを意味する。しかし、会社が期待したように、警察が動か(け)ず、そのシリーズ物も思惑倒れとなってしまう。しかし、デッチ上げであるがゆえに検察の動きもない中で、破廉恥にも会社が解雇を強行したことに乗じて、ユニオン幹部はデッチ上げから目をそらせるためのキャンペーンとして、この組織情報を出した。まったくあわれな養殖幹部である。

ところで、9月27日、ユニオン幹部は蒲郡駅現地にいたのか？現地には、私たちの他、非現業と思われる管理者と**デッチ上げ「窃盗事件」の確信犯である山口駅長、古田助役**しかいなかった。**あきらかに会社のリークによるウソ情報である**。私たちは会社に抗議はすれど、取り囲んでなどいない。

そもそも、仲間がデッチ上げで解雇されて、抗議しない労働組合があるのか？一切闘わずに会社の指令どおりに、闘う労働組合を会社・警察権力と共に弾圧し、堂々と職場活動まで否定するユニオン幹部は、まさに労働組合にあらず、会社の労対部・犬である。まして、このように、**会社による「窃盗事件」デッチ上げに加担し、職場での組合活動を否定するユニオン幹部こそが真の犯罪者**である。

ユニオン組合員の皆さん、このようなユニオンに身をおいては、働く者に未来はありません。一刻も早く決別し、明るい未来をかちとるために、あたりまえの労働運動を共に進めましょう。

デッチ上げによる解雇を許せるか